東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6884号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２Ｆ
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙

チェルノブイリのその後、そして未来

東大阪河内ライオンズクラブ

チャリティー講演会

東大阪からスタートする全国キャラバン

東大阪河内ライオンズクラブ（西林秀雄会長）はライオンズクラブ国際協会設立100周年記念奉仕チャレンジ企画としてチャリティー講演会を行った。11月28日14時より2時間にわたり、石切ホテルセイリュウ（東大阪市上石切町1）において「チェルノブイリのその後、そして未来」をテーマにした講演が行われ、約200人が集まった。

講演に先立ち主催者の東大阪河内ライオンズクラブ会長・西林秀雄氏は「私たちは3・11を忘れない」とライオンズクラブのスローガンに基づいた活動を続け、「講演会の協賛金やチケット収入はウクライナや東日本大震災復興支援へドネーション（寄付）しまです」と企画の趣旨と謝意を述べた。続いて同クラブ幹事・川口敏子氏から来賓紹介が行われ、来賓を代表してライオンズクラブ国際協会335―B地区ガバナー・中村猛氏が「今日の講演会は時機にかなったすばらしい企画です。人類の原子力エネルギーの将来に向けた課題について、チェルノブイリの地元代表が貴重な経験を話してくださり、未来に向けて明るい方向性を見出してました」と祝意と決意を述べた。加えて、「この会場から始まる全国を巡る講演キャラバンが人々に知恵と勇気と希望を与え、成功裏に終わることを祈念します」と祝辞を結んだ。

左から陶山昭彦氏、タマーラ・クラシツカヤさん、竹内高明氏（通訳）、スベトラーナ・ベスバーロバさん

続いて、東大阪河内ライオンズクラブ・陶山勝英氏の司会進行により公務で欠席の野田義和東大阪市長の祝辞が披露され、講演者とウクライナからのパネリスト2人と通訳が紹介された。

司会の陶山勝英氏

ウクライナからパネリスト

講演は放射線エキスパートの医師・陶山昭彦氏による「ヒバクシャ」、ウクライナから来日したチェルノブイリ被曝者互助団体「ゼムリャキ（同郷人）」代表タマーラ・クラシツカヤさんによる事故当時の様子、地区中央小児外来病院チェルノブイリ科主任スベトラーナ・ベスバーロバさんによる被曝後遺症などだった。

約200人の聴衆は講演者が使用する豊富なデータとスライドやビデオ映像から放射線の恐ろしさを実感した。

講演後、陶山昭彦氏からの講演料の寄付とチャリティー贈呈がウクライナから来日した2人に行われ、「初めて来た日本。自然は美しいし、すばらしい人々に笑顔で迎えられました。寄付は病院の子どもたちへの手術などの支援に使わせてもらいます」との謝辞に会場から大きな拍手が響いた。

（石河亮平）

昔の看板を説明する川口泰弘さん

3000点以上の民具を保存・展示

岩瀧山往生院六萬寺 民具供養館

東大阪市六万寺町１－22－36
☎072-981-2597

岩瀧山往生院六萬寺の民具供養館に入ると、懐かしい空気に包まれる。

入口には、古い看板が所狭しと吊られている。少しでもお客さんの目を引こうと工夫を凝らした手作りの看板は、どれもユニークで見入ってしまう。

少し進むと、5つカマド（くどさん）がある。実際にご飯を炊くことができる。さらに進むと、実際に使われていた農機具が種類ごとに並べられている。中央には板張りの居間に囲炉裏が設えてある。その周りには着物箪笥、蓄音機、足踏みミシンなどが置かれており、触れることができる。

民具供養館の始まりは昭和40年代にさかのぼる。近所の農家が家を毀つときに、先祖代々の民具や農機具などを焼き捨てるのが忍び難く、往生院六萬寺に相談した。話を聞いた先代の住職が引き取ることに。相談を受けるごとに、民具や農機具が増えた。

昭和61年に先代が亡くなった後、このまま置いておくのはもったいないと、川口哲秀現住職が平成元年に民具供養館を境内に建てた。

現在、3000点以上の民具や農機具を保存および展示している。無料で団体の見学を受け付けている。

見学者に対して、学芸員の川口泰弘さん（32）がひとつひとつ丁寧に説明してくれる。じっくり見学すると、約2時間かかる。

東大阪モノづくり大賞受賞企業 物産品展示会 好評

きれいにレイアウトされた物産品

商工中金 東大阪支店

商工中金東大阪支店（東大阪市長田中2―1―32）は1階ロビーで、第16回および第17回東大阪モノづくり大賞受賞企業6社の物産品を10月19日から約1カ月間展示した。

第16回の金賞はI・T・O株式会社（内海二郎代表取締役）、銀賞は木田精工株式会社（木田潔代表取締役）、銅賞は株式会社サンクレスト（植田実代表取締役）。

第17回の金賞は旭工精株式会社（西辻毅代表取締役）、銀賞は株式会社クニムネ（国宗範彰代表取締役）、銅賞は佐藤鉄工株式会社（佐藤晃司代表取締役）。

展示会は好評で、12月中旬まで延長することになった。

マツモラ産業株式会社
緊急時避難用人引車（じんびきしゃ）製造
〒581-0843 八尾市福万寺町南6―1―3
TEL（072）925―3450
FAX（072）923―8710

チャリティー参加

骨髄バンク登録推進運動 命のつどい開催

田邊砂智子さん

華やかなフィナーレ

サチコ・ナ・プアラニ・フラ・ネットワーク

田邊砂智子さんはサチコ・ナ・プアラニ・フラ・ネットワークを主宰、フラの普及活動とフラによるチャリティーコンサートに熱心に取り組んでいる。

「命のつどい」チャリティーコンサートには2002年から欠かさず参加し、今年で14回目の舞台を迎えた。11月15日、会場の「なら100年会館」には大勢のフラ・ファンや参加者が詰めかけた。

サチコ・ナ・プアラニ・フラ・ネットワークは2時間にわたり、30組のフラ・グループが華やかなステージを披露した。プログラムのトリのステージはサチコ・ナ・プアラニ（田邊砂智子さん）が優雅な舞いで会場全体を魅了していた。

「命のつどい」では全国各地でフラ・バレエ他のグループ・団体に対しチャリティーコンサートに協賛・協力願うことで、コンサート来場者に骨髄バンクの必要性、骨髄移植についての知識を得てもらう啓発活動を行っている。

大笑いで福を呼ぶ。今年はギネスをめざす

アッハッハ 境内に笑いがこだまする

枚岡神社 お笑い神事

河内国一之宮・枚岡神社に古来より伝えられる「お笑い神事」が12月23日に行われる。

神話には八百万（やおよろず）といわれる様々な神々が登場する。

天照大神（アマテラスオオミカミ）が天の岩戸に隠れたとき、天照大神を岩戸から誘い出すためにそれらの神々が岩戸の前にはせ参じた。天太玉命（アメノフトダマノミコト）も天の岩戸の前に駆けつけている。

この神は注連縄（しめなわ）の考案者でもあり、天照大神が天の岩戸から出てきたとき、この神はすかさず注連縄を岩戸の入口に飾っている。注連縄は岩戸の入口をふさぐ形となり、天照大神が岩戸に戻る道は閉ざされた。

以後、注連縄は神体や神域の周りに張り巡らされるようになり、その内側は神聖かつ清浄な場所を示すようになった。現在、神社の社殿や鳥居に注連縄が張られるのはそのためだ。

天の岩戸の前で朗々（ろろ）と祝詞（のりと）を奏上した天児屋根命（アメノコヤネノミコト）は言霊（ことだま）の呪力に秀でた神であり、祭事には欠かせない祝詞の祖神（おやがみ）となった。神々が天照大神を誘い出すために、踊りに合わせて大声で笑い続けた故事が「お笑い神事」の起源とされている。

昨年のお笑い神事の様子

12月23日（天皇誕生日）に斎行

枚岡神社では12月23日（天皇誕生日）に、新年を迎えるに当たり新しい注連縄に架け替える「注連縄掛け神事」が午前10時から斎行される。注連縄を掛け替えた後に、中東弘宮司の音頭のもと神職・氏子・参拝者の一同で20分間にわたって笑い続ける。

中東宮司の力強い高らかな発声で「アッハッハー」の笑い声が神社境内に響きわたる。巫女研修生の皆さんが壇上に勢揃いし、境内に参集した参拝者が宮司と共に20分間笑いを繰り広げる。

笑い続けること10分、15分と過ぎていくうちに、女性が中心となり参拝者が手をつなぎ踊り出す。江戸時代のエージャナイカ節や、戦後の踊る宗教を彷彿とさせる光景だ。

当日は参加者が笑いを競い合う「大笑いくらべ」やプロ芸人が出演する演芸会の他に、「古事記のやさしい講演」等楽しい企画が盛りだくさんだ。また笑福汁・甘酒他の模擬店も多数出店される。

この1年の雑念を笑い飛ばし、笑うことにより福を呼び、来たるべき新年の開運を願う「お笑い神事」に参加して日頃の憂さを晴らしてはいかがだろう。

枚岡神社は近鉄・奈良線「枚岡駅」下車、徒歩2分。「注連縄掛け神事」「お笑い神事」は12月23日（天皇誕生日）午前10時より斎行される。

晴耕雨読

ラクビーが熱い

花園ラクビー場が熱戦を待っている。9月19日英国で行われたラクビーW杯の初戦は世界最強の南アフリカ。劇的だった。時間は80分を示していた。プレーが切れると試合終了という場面、相手ゴール正面でペナルティーを得た。

ゴールを決め同点で終えると誰もが思った。しかし、躊躇することなく主将リーチ・マイケルがスクラムを宣言した瞬間、3万人の観客はどよめき、歓声をあげ総立ち。最後の瞬間に固唾をのんだ。そして、再びスタジアムが大きく波を打った。34―32で逆転したのだ。

英国メディアは「最大の番狂わせ」と絶賛した。1次リーグ敗退は残念だがラクビーの魅力は肉弾戦と頭脳戦の面白さだ。その興奮は11月13日に開幕した国内最高峰のトップリーグ（TL）へと持ち込まれた。

大阪を本拠地とする近鉄とNTTドコモの試合が多く組まれる花園ラクビー場。関西大学リーグは同志社大の優勝で舞台は東京へ。入れ替わって年末恒例の全国高校ラグビー選手権が開幕する。他方、7人制ラクビーは来年のリオ五輪に男女とも出場権を獲得した。とりわけ女子の「サクラセブンズ」の活躍はラクビー界に新たな熱風を吹き込むだろう。4年後のラグビーW杯に向けて花園ラクビー場の改修工事費などに充てるため「ラクビーのまち東大阪基金」ができた。

大学ラクビー隆盛の1981年、「早明戦」で旧国立競技場の収容人員を越える6万7千人が観戦した記録がある。今年のブームを一過性にとどめないためにも花園ラクビー場（東大阪市）とノエビアスタジアム神戸（神戸市）が近鉄と神戸市営地下鉄とでスクラムを組んだ「楽日ノーサイド」チケットなどがあればありがたい。

世界遺産登録　紀伊山地の霊場と参詣道
吉野大峯奥馳道・吉野山
きす屋
ステーキハウス大西
日本料理・鍋
洋食
〒639―3115　奈良県吉野郡吉野山 403（銅（かね）の鳥居前）
▶連絡先：有限会社木須商店（☎072-949-1147）
平成28年
3月1日
オープン

◆きす屋への道しるべ

連載 小説

感触 —②—

嶋津 亮太
（八尾市在住の小説家）

イメージとはヘリウムガスのようなもので、空気より軽く、そこに発生すれば自然と上へ昇っていく。設定が決まればあとは呼吸するように物語は展開する。登場人物が死へと向かうまで。どのような過程を経て、結末を迎えるのかは全て僕次第である。鈍器で殴ろうが、皮膚を燃やそうが、刃で切り裂こうが咎める者は誰もいない。

何度も繰り返す内に僕はあることに気付いた。記憶と想像の関係性である。これは感覚的な話だ。僕の中で記憶と想像がいっしょくたになることがしばしばある。つまり、それが僕の記憶の中の出来事なのか、想像の中で生み出されたものなのか分からなくなるのだ。

思い出すというのは地面を掘る作業に似ている。自分の中の奥深くへ探っていくようなものだ。記憶は地下を進み、想像は天へ向かって進む。両者は一見、逆向きに進んでいるように感じられるのだが、ある一定のラインを越えた瞬間、その二つは呼応する。分かりやすく言えば、想像の中で相手を殴った時、S君をスコップで殴った感触がはっきりと蘇るのだ。あの右手に宿った記憶は鮮烈だった。圧倒的だった。あの感覚に命が吹き込まれるように、それはそこにあるものとして実感できるのだ。

その感触をじっくりと味わうために僕は想像の中に身を落とし込んだ。何度も何度も、「僕」という物体の輪郭が消えてなくなるまで。

頭の中でイメージが完結した時、僕は恍惚とした気分になれた。

そして欲望は静かにおさまった。凪のように、こよなくおだやかに。

そう言いながらも平平凡凡に生きてきた。そしてこのまま人生をやり過ごしていくのだろう。そう思っていた。

そんな時、浪人時代にお世話になった予備校の先生と偶然再会した。僕が成人したこともあり、居酒屋に連れて行ってもらった。ビールを飲みながら先生と話した。その予備校の中でも一番好きな先生だった。担当は古典。教え方が何よりうまかった。先生の授業には学ぶことの楽しさがあった。知識を詰め込むだけでなく、問題を解く喜びを教えてくれるようなすばらしい授業だった。私的な相談こそしたことはなかったが、僕は先生の授業はいつも楽しみにしていた。

久々に会った先生は少し疲れていた。教壇の上で話す姿とは少し違っていた。そういう印象を持ったのは僕が大人になったからかもしれない。あの時の全てを引き込む絶対的な存在ではなくなっていた。僕が初めて見る先生の顔だった。それは落胆ではなく、喜びだった。先生にさえ多面的な顔があるのだ。

「今、K大学だよな？どうしてるんだ？」

先生は僕に訊ねた。

「バイトばっかりです」

「何か打ち込んでいるものはないのか？」

タコの唐揚げをつまみ、先生は僕を見る。酒のせいか、瞳の下は赤く染まっている。

「特には」

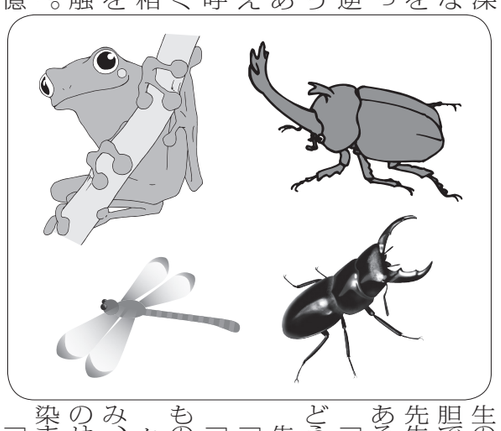
先生はビールを飲んで、おしぼりで口元を拭いた。その間ずっと僕の瞳から視線を逸らさない。頭の中で何かを組み立てているような表情だ。僕は名前を呼ばれた。

「せっかく大学に進んだんだ。それもお前が望んでいたK大学じゃないか。大学の4年間は人生において大変貴重な時期だ。金はないだろうが、時間は山ほどある。社会人になれば金はできても時間はないぞ」

そこまで言って言葉を切った。僕が聞いているのかを定めているような瞳だ。

次号（2月15日付）に続く

感触



第１回短編小説を読む会「短い夜よ、こんにちは」

第１回短編小説を読む会「短い夜よ、こんにちは」が12月２日にカフェバー・ドンナ（八尾市陽光園１—10—15）で開かれた。テーマ本は大津栄一郎訳「オー・ヘンリー傑作選」（岩波文庫）。小説家の嶋津亮太さんが案内人を務めた。

参加者が順番に自分の好きな作品について語り、嶋津さんがコメントするという形で進められた。最後に意見交換の時間が設けられた。参加者の中には学生時代からオー・ヘンリーを愛読している人がおり話が尽きず、あっという間に２時間が過ぎた。

次回は来年１月27日19時から同会場で開かれる。テーマ本は百田尚樹著「幸福な生活」（祥伝社文庫）。参加費はワンドリンク付きで1,000円。問い合わせはカフェバー・ドンナ（☎072—915—4040）へ。

カフェバー・ドンナで

本の話題でいつまでも話が尽きない
（左端が案内人の嶋津亮太さん）

講談×歴史解説ミックス公演

11月29日　高槻・服部図書館ホールで

本邦初

歴史を学ぶと現在・未来が見えてくる

軽妙に語る講談師・新玄さん

話は明治の初め頃、飛ぶ鳥をも落とす勢いの大英帝国の駐日公使パークスを弱冠23歳の横浜税館長・星亨が堂々とやり込める痛快譚である。当時、欧米の列強は日本を軽視し、白昼堂々と税関を素通りして商品を陸揚げすることしばしば。しかし星らの奮闘で、この傍若無人な不法行為は改まっていく。日本を一人前の独立国家にするために、明治の人たちは頑張った。「さていま昭和・平成の人間は!?」と結ばれていた。

（新玄さん）講談は「見てきたような嘘をつき」とよく言われますが、面白おかしく興味深く！　と考えると誇張も少々は入ってまいります。ただ根も葉もない絵空事を話しているのではありません。今回は、続く歴史解説でかなり真実に近いことが証明されました。解説が付くことにつき「たのしい」だいと現在も未来も見えてきません！　歴史音痴は日本の将来を誤ります！　象山・松蔭・海舟・龍馬の昔に戻って、日本の建て直しを考えましょう！　今後お呼びがあれば高槻ばかりか大阪府下、いや東京など全国行脚して語り尽くしたい。公演料？　お金のある所からは頂きますが、お金のない所からは頂きません。最後にこのミックス公演成功の陰には服部図書館長・岩村浩一氏のプロデュースのご苦労があったことを申しておきたい」

出演の2人からは以上のようなコメントがあった。小さなホールだったが、満員の盛況だった。語り部の新種誕生。大いに活躍してもらいたい。

熱く語るジャーナリスト
正賀幸久さん

なって、虚実皮膜の間講談の綾も垣間見ていただけたと思います。今後も二人三脚を続けてまいります」

（正賀幸久さん）「講義・講演の堅苦しい雰囲気を避けて、気楽に聴けるものにしたいと思い、3年かけてやっとミックスが実現しました。歴史を学ばないと現在も未来も見えてきません！　歴史音痴は日本の将来を誤ります！　象山・松蔭・海舟・龍馬の昔に戻って、日本の建て直しを考えましょう！　今後お呼びがあれば高槻ばかりか大阪府下、いや東京など全国行脚して語り尽くしたい。公演料？　お金のある所からは頂きますが、お金のない所からは頂きません。最後にこのミックス公演成功の陰には服部図書館長・岩村浩一氏のプロデュースのご苦労があったことを申しておきたい」

出演の2人からは以上のようなコメントがあった。小さなホールだったが、満員の盛況だった。語り部の新種誕生。大いに活躍してもらいたい。

豊田市（愛知）の農村舞台で「白鳥の湖」を上演

武田洋平
（辺境文化研究者）

愛知県豊田市の北東部は、岐阜・長野の両県に隣接する山あいの地域である。その里山に点在する神社の境内に建つ明治期の芝居小屋を再生し、地域おこしの一環として5年前から同市文化振興財団が主催する「農村舞台アートプロジェクト2015」に初めてクラシック・バレエが登場、9月21日の夜、集まった約250人の地元の人々を魅了した。

その公演に司会者として参加したが、今般話題の「ふるさと創生」に絡めて、異色な文化の結合が地域振興ひいては住民の意識改革に果たす役割を考えてみたい。

古典舞踊に創作ダンスが絡む

当夜、ステージに即席で敷き詰めたバレエマットの上で華麗に舞い踊ったのは、市内に本拠を置く豊田シティバレエ団（諏訪等・芸術総監督）の9人の団員（うち男性1人）。薄暮の中に幕が上がり、バレエの極北ピョートル・チャイコフスキー「白鳥の湖」から「王子とオデットのグラン・アダージョ」「スペインの踊り」など4シーンでバレエの真髄に迫ってゆく頃には、照明に照らし出されたステージがあたかも黒い海に揺らめくイカ釣り船のごとく妖しげな光彩を放ち、神秘さの中にリアルな動きを際立たせた不思議な情感が周囲の漆黒の森に漂い始めた。

中程では創作ダンスやジャズのスタンダードのメロディーによるモダンバレエで香盤にアクセントを付け、最後は全員総出「津軽じょんから節」で賑やかにフィナーレを締め括った。

村民総出の村芝居がルーツ

この地域は江戸時代初期以降、信州から米や煙草を迎え入れる一方で塩などの海産物を尾張や三河から送り出す飯田街道の中継基地として栄えた。馬の背に揺られた産物の往来は人と富を招き寄せ、人馬が行き交う賑わいを記憶に留めている古老は多いという。

今でこそ世界に冠たる自動車産業の町・豊田や周辺諸都市の通勤圏に取り込まれているが、明治から昭和の戦後暫くまでは純農村地帯で、収穫後に総出で楽しむ村芝居のために80有余の農村舞台が主に神社の境内に建てられた。

その多くは朽ちてはいるが、近年、うち幾棟かを修復、豊田市内外のアーティストたちによる歌舞伎や人形浄瑠璃はまた絵画や彫刻の展示などで、新たに脚光を浴びつつある。

伝統構造を近代的技術で補強

今回バレエ公演に提供されたのは、中世に起源を発する磯崎神社の境内に明治34年に建てられた農村舞台で、人力に頼る回り舞台をいだくなど伝統的な構造は踏襲しつつも、上下二段構えの梁を鉄筋で吊るすといった近代的な技術も随所に施された芝居小屋。

昨年はプッチーニの歌劇「蝶々夫人」が演じられ、西洋芸術と和風建築のミスマッチがかえって評判となり、今年のバレエ公演に繋がった。

身近なアイテムで地域おこしを

バレエとは距離を置いてきたという初心者が大半と見たが、星降る空の下で観客のほとんどが1時間半に及ぶ長丁場を最後まで楽しみ、参道に点々と置かれた竹筒に収まった蝋燭の仄かな灯りに足許を確かめつつ家路についていく姿を見るにつけ、東西の伝統文化の融合が意外な場所で、かつ予想もせぬベクトルで進行しつつあるように思えてきた。

見方を変えれば、有形また無形の異文化の接触で発生した摩擦熱が、ローカルな人々の意識を根底から揺さぶるのである。

今年のノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智博士は、アフリカ大陸を中心に世界で数億もの人々を救ってきた特効薬の材料となる微生物は何と「我々の身近な場所にある」と証言したが、都市部から隔たった地域の住民の精神生活を一層、豊かなものとするアイテムもまた日常生活の範疇内に存在する事実は、地域おこしを効率よく達成させる上で、重々認識せねばならぬと私は考える。

（公財）豊田市文化振興財団提供
華麗に舞い踊るバレリーナ

異文化の結合で地域おこしの活性化を

熱い思いに集う女性たち

あったかファミリー運動　教育再生の会

NPO法人あったか演劇研究会（鈴木充佐子理事長、大阪市淀川区東三国4—4—15コラム新大阪402号）の基盤「あったかファミリー運動」は「教育再生の会」と草の根運動「街角オアシス」などから成り立つ。

設立は2007年5月。提唱者の川本ルリ子氏による4つの理念「家族・子ども・地域・文化の継承」の実践運動として全国的に活動を展開している。

ニークな存在である。社会目線で脚本・演出を手がけながら「家族力」こそが教育再生の基盤だと地域密着型の運動を精力的に展開する。

また、小学校の教育現場からの依頼を受けて豊かな心を育む教育の実践を訴えている。社会問題をテーマにした会員による寸劇は好評だ。

「教育再生の会」例会では会員によるトピックスのプレゼンテーションに合わせて寸劇が演じられる。

その後、グループで語り合い・発表・講評を経て研究会は終わる。

一味違う勉強会

11月15日の研究会では鈴木充佐子代表が「過酷な子どもたちの登校拒否や引きこもりなど衝撃的な内容が多い。ここ10年を見て果たして平和なのか、大人たちが作ってきた社会の根底には家庭力の負のスパライルがある。責任を持ってもう一度構築しなおさなければならない」と挨拶。

次に会員から「子どもの貧困」と題して問題提議された。「夕飯も食べられない子どもだけではなく孤独な老人も多い。寺子屋のように子どもの教育を見るというような根っこの部分に斬りこむことを宣言したい」と述べた。

続いて寸劇では家族との夕食の場面「今と昔」をリアルに演じる。そして10人ほどが4グループに分かれて意見交換。最後はコミュニケーションで大切にする「こんにちは」「うれしい」「たのしい」「だいすき」の4つの言葉を体を動かし表現していく。これは提唱者の言葉の一つで「仙骨立てて胸はって笑顔に笑顔の良き思い、良き言葉、語り合って手を取り合い実践いたします」を行動で示すもの。

第2部は「あったかファミリー運動」提唱者の川本ルリ子氏が基本理念の一つである「三位一体—知情意」「素粒子」などを説明。

歌とダンスを交え「心のネットワーク」をパワフルに語っていた。

街角オアシスin東大阪

地域単位で組織され展開されているところは大阪、兵庫、京都、奈良、岡山、広島（福山）、神奈川（横浜）など20カ所で、地域の特色を活かしながら精力的に開催されている。

東大阪市では「未来に向けて夢の持てる社会づくり」を掲げて「街角オアシスin東大阪」が発足。10月1日、東大阪男女共同参画センターで「教育の再生を願って！　地域で育む教育とは」をテーマに、初めて開催された。

皆で楽しく歌う

提唱者　川本ルリ子氏

手をつないで和気藹藹と

問い合わせ先
NPO法人あったか演劇研究会
あったかファミリー運動事務局
あったかファミリースクール
大阪市淀川区東三国4—4—15　コラム新大阪402号
TEL06—6394—5137
FAX06—6394—5111

詩の窓

記録

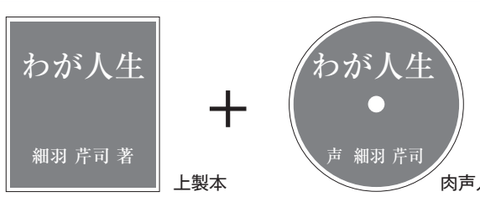
丁　章
（東大阪市在住の詩人）

偉大な詩人が言っていた／すべての文学作品は／人に相手にされなくなって／やがてその存在を失う／最初は愉しまれ／次に技術を教え／最後は記録となる／これが作品の運命だと／ザイニチがあまりにも末期的だから／はじめから記録を意識しなきゃならない／記録として通すことは意識して書くと／美しさにかまっていられないときがある／それに美しくないもののほうが／かえって美しかったりもする／美しいほうが遺るという説もあるが／見かけ倒しの美しさだけが遺るようなら／そりゃ何の中身も意味も無いよ／とにかく美しさに酔っていられるときじゃないんだ／それほどまでに危うい／ザイニチの存在／記録となった文学作品の／その次の運命については／偉大なる詩人もどうやら／気づかなかったらしい／何代もの世代を経て生き遺った記録が／いつしか／神話に／化すということを

親孝行出版のすすめ

「孝行のしたい時分に親はなし」と言われます。
親が亡くなってから、もっと話を聞いておけばよかったと思う人は少なくありません。まだ親が元気なうちに話を聞き、形に残すことで親孝行ができます。また、子どもである自分の存在の貴さを改めて確かめることができ、いのちのバトンタッチを末代まで残せます。
プロのライターがインタビューし、熟練の編集者が編集し、本格的な印刷のうえ上製本（ハードカバー）に仕上げますので、安心してお任せ下さい。心を込めて、永遠に残るあなたの財産をお作りします。

《基本設定》
A５判32ページ上製本（ハードカバー）、布表紙に金（または銀）箔押し
モノクロ写真10枚挿入　肉声入りＣＤ付き
制作部数10部　出版費用50万円（税別）



上製本　肉声入りＣＤ

株式会社ドニエプル出版　〒581-0013 八尾市八尾山本町南6-2-29
TEL 072-926-5134／FAX 072-921-6893

現代生き方指南

―6―

企業経営者で僧侶の松茂良興真住職の法話を連載

悟りとは我が心を知ること

三野郷山 三寶興誠院 住職・阿闍梨　松茂良興真

当院の観世音菩薩様は地面から頭の先まで８ｍ20㎝あります。ぜひ一度お参りにお越し下さい

因果の法則

物事は善悪にかかわらず、前回述べたように因によって果ができる。〝まかぬ種は生えぬ〟。自分がいくら善い種をまいたと思っても、他人から見れば善い種ではないかもしれない。またいかに善い種をまいても、まきっぱなし、そして善い果を望み、いいかげんな過程（因にもなる）では善い種でも悪い果になってしまう。

善い種、悪い種は他人が判断するもので、自身が判断するものでは決してない。しかるにまいた種は自身が刈り取らなければならない。また我々個人が他人を判断するにおいては正法にもとづき、中道の心（こだわらない心）で何事にも取り組まなければいけない。

中道

左にも右にもかたよらない、物事にとらわれない、こだわらない、仏のものさしではかった真ん中ということである。自然に万物に中道の心にしたがって、大きい物には大きいように、小さい物には小さいように、平等に恵を与えて生命を生かし、維持していけるように太陽・空気・水を恵み与えてくれる。私たちの肉体の機能・地球の機能・太陽の機能というものはすべてにおいて中道の心（自然の法則）にしたがって生かされている。ところが人間は、肉体のほかに心という精神作用によって、時には不調和になるため肉体の機能を損なう場合や周囲の生活環境まで不調和を与えることがある。

人間の幸・不幸の別れ目は、各人の意識（心）の想念である。正法にそった中道の心（八正道）で物を見、語り、思うことによって、日常生活を正しく想念、行為するならば、心と肉体それ自身と周囲の環境は自然に整えられてくる。

人間は心の持ち方によって一層健全になり、健康な肉体は心をますます明るくしていくものである。ゆえに理解のない信心、好意のない信心というものは、嘘の上塗りを重ねていくことになる。

正法の目的は中道であり、私たちの心も肉体も片寄らない中道が必要である。それにはまず物の見方から中道に沿うようにしなければならない。自己の立場を捨て客観的に見る目を養うことが大事である。

置かれた立場を固執し、自我や欲望のままに見る癖をもっていては真の中道とは言えない。どんな場合でも自然が教える正法を尺度として八正道にもとづいた正しい見方、判断、思いを忘れてはいけない。換言すれば正法とは大自然が教える中道の真理であり、一切の尺度はここにあることを認識しなければならない。

正法の悟り

正法の悟りというものは、日々の生活を通して中道の心を体験し学んでいくのが本来である。山陰に身を隠し俗界を離れれば誰でも雑念から遠離できるだろうし、自然を相手に自然との生活に慣れ俗界からとだされてしまう。

しかし、温室の花木は屋外に出せば直ちにしぼんでしまうように、山陰での修行は修行のひとつではあるが、俗界にあっても周囲との心の調和が維持できなければ悟った修行とは言えないのではないだろうか。

悟りという字は「リッシンベン＝心」であり「吾＝自分」である。要するに二つが組み合わさって悟ると読むが、悟りとは我が心を知るということである。

ブッタ（仏陀）が説いた真理は当時正しく伝えられた。それが時が経つにつれて心を失い、こうであろう、ああであろうと「知」と「意」が一人歩きをして学問化・哲学化されてしまった。

それが現在宗教そのものであると言える。朝夕にお経をあげ、燈明・線香をあげる、供物をする、またあちこちの神社や仏閣にお参りする、そして自我のために一生懸命お経をあげ、頼みごとをし、お祈りをする。そうすることが信心・信仰であり、また救われるという馬鹿げたものに変わってしまった。

本来の仏教（信心・信仰）は祈りである。行為のない仏教は真理ではない。仏教は仏の教えであり、だれにでも理解できる広くて明るいものである。しかし密教はと言えば考えさせられる多くのものがある。密教の源流はヨガであり、己一個の自覚のみを求めている、小さな悟りだとも言えるだろう。

仏教は正法として説かれたのだが、いろいろな言葉に訳されるにつれて形骸化され、日本に入ってきた時分には、いつの間にやら他力本願になってしまった。いわゆる欲望達成のためにとか、努力もしないお願いごとばかりになってしまっている。

三野郷山 三寶興誠院
住職　松茂良興真
八尾市福万寺町南６―２―３
☎072-922-3933

※毎月第３日曜午前10時30分からの月例の後に祈願祈祷を行っています。どなた様でもお気軽にお参り下さい。

総合診療所 あいしんクリニック

明日やればいい仕事は明日やればいい

事務長　是則　圭孝

今年もいよいよ残り少なくなり、今年中に済ませておきたい仕事を抱えて日々時間に追われる諸兄も大勢いらっしゃると思います。

あわただしい12月が終わる頃、達成感に浸りながら今年を締める、そんな年末が過ごせたら最高です。

それには、仕事の優先順位と明日やればいい仕事を明日に回せる決断が重要です。

多くの人が仕事モードに入ったときに頭にうかぶのは3つの基準で、それは感覚的な判断です。

(1)どうしてもやらなければいけない
(2)やっておけばいい
(3)時間があればやってもいい

もちろん、予定表にもとづいて順次仕事をかたづけていく人もいます。

しかし、昨日と今日では状況の変化ということもあり、昨日までの優先順位が変わることも多々あります。

そこで、今日の段階で(1)「どうしてやらなければいけない」ことをまず優先させ、その後で(2)(3)の順序で仕事をこなしていくのも納得できる手順ですが、あえて(1)以外のことはしないという手もあります。

そもそも、今日やらなければならない仕事量だけで、その日の時間がなくなってしまうのも現実。

そこで、最初から「やっておけばいい」か「時間があればやってもいい」などという仕事はしないと初めから決めておいたほうが、確実に達成感が得られるはずです。

今日やるべきことはちゃんとやれているのに、「今日やれなかったことがある」というようなマイナスの気持ちをなくすことが、「今日も元気に、仕事ができた」と、今日の仕事の充実感を明日に生かすことになります。

つまり、今日やらなければならないことは今日やらなければならないけれど、明日以降にやればいいことは明日以降にやればいいのです。

限られた年内の時間の中で今日やらなければならないことに集中し、その集中力を維持するほうが最終的には成果が上がると思います。

キムタツの知恵袋④

大増税時代

お金を残せる人、残せない人

事業継承、相続の対策は早目にスタート

トータルタックスプランニング　木村　達也

事業承継と相続発生時の必要資金は準備されてますか？

一番こわいのは、必要資金の準備ができていない状況で経営者に万一が起こった場合です（持ち分のある医療法人を含む）。

↓

・後継者または法人（金庫株）による自社株の買い取り資金の発生
　※自社株評価額は法人試算の状況により高額になっている場合があります。
・相続納税資金の発生
　※相続税の最大税率は 50％です。

↓

必要資金が準備できていない場合

後継者または法人が銀行などから資金調達をしなければなりません。

※後継者がお金を借りて返済する場合、年収を上げるケースは多いですが、年収を上げると所得税率が上がり、住民税率を合わせると最大税率 55％です。

後継者の負担を考えると事業継承、相続の対策は少しでも早くスタートすることです！

必要資金を賢く準備する知恵、自社株や相続財産の評価を下げる知恵、たくさんあります。

キムタツの知恵袋⑤は2月15日付に掲載

ドクター、寄り道世界一周⑥

1ドル360円時代

久志本　東

アフリカ編

世界遺産ビクトリアの滝

リビングストンはその生涯に三度、アフリカを探検しています。そして三度目の探検旅行で、本国イギリスとの連絡が途絶えて行方が分からなくなります。

イギリスでは、消息を絶ったリビングストンの死亡説が流れ、探索隊も派遣されていたのですが、何の成果も得られなかったのです。それでもリビングストンは見捨てられたわけではありませんでした。

ニューヨーク・ヘラルドの経営者に報奨金付きの捜査の依頼を受けたジャーナリストのスタンレーは、ウジジ近辺でリビングストンの従者と遭遇し、彼の生存を知ります。従者の案内でリビングストンと対面したスタンレーは、あまりにもやせ衰えてガイコツのようになった姿を見て、思わず「リビングストン博士でいらっしゃいますか？」と念押ししたといいます。この言葉は後に、イギリスで流行語になるほど劇的なエピソードして伝えられました。僕が読んだ本の中でも、とりわけ感動的な出来事として紹介されていました。一八七一年十一月十三日のことです。日本ではすでに明治時代に入っています。

ビクトリアの滝へ行くには、ルサカから南西へ約五百キロメートルの道のりをドライブしなければなりません。

車は会社のミニバスで、乗り心地はよくないし、道路は真ん中が舗装されているだけで両脇が土のガタガタ道。対向車が来た時は要注意です。サバンナ地帯をひたすらまっすぐ走ります。地平線の彼方まで伸びる道路の左右に見えるのは灌木と巨大な蟻塚、そして奇妙な形のバオバブの木。ごくたまに村の近くを通るときにホロホロチョウを見ることもあるのですが、行けども行けども同じ景観が続きます。しかもフロントガラスに猛烈な勢いで虫がぶつかってきて、たちまち前が見えなくなります。

時にスコールも来ます。降っているところと降っていないところの境目がはっきりしていて、降っていないところは太陽がぎらぎら照りつけているのです。そして雨は、突然サッとあがります。

そんなドライブが五百キロメートルも続きます。乗せてもらっている我々はさすがに暇を持て余し、ザンビア人の運転手達と雑談しながら日本人との違いなどいろんなことを教えてもらいました。男女の関係も話題になりました。

イラスト　久志本雅子

うんざりするほど退屈で長時間のドライブの果てに、ようやく目の当たりにした滝は、とにかく凄いという言葉以外なにも出てきませんでした。リビングストンが感激したのも当然だと思いました。近年はビクトリアの滝を訪れる人も多くなり、その凄さはＹｏｕＴｕｂｅの動画でも見ることができます。

今思えば、彼は宣教師であり奴隷貿易反対論者でもある慈愛あふれた探検家ですが、当時の白人の傲慢さには気づかず、当然のように「ビクトリアの滝」と名づけたわけです。名付けるということは、この滝を女王に捧げ、ひいては近辺の土地を彼の母国のものであると宣言したようなものです。

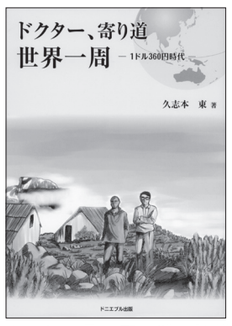
ビクトリアの滝は日本にある滝とは、規模も姿もまったく異なります。南米のイグアスの滝には及びませんが、先に述べたように幅は千七百八メートルですから、ナイアガラの滝の約二倍。落差は百八メートルと世界最大級で一見の価値があります。現在はユネスコの世界遺産に登録されています。

滝の近くにリビングストンという町があって、博物館には彼の記念碑と資料が所蔵されています。初めて訪ねた当時は特徴のない小さな町でしたが、現在は人口十二万を超える大都市になっているとのことです。

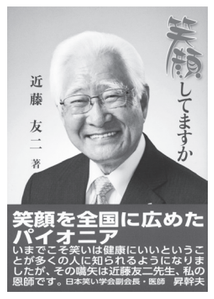
（つづく）

両国の違いは大きく、淡白な日本人男性と比べるとザンビアの男性は精力絶倫。後にアフリカで急速にエイズが広がったと聞いたとき、それが原因のひとつかもしれないと思ったものです。

久志本　東著
ドクター、寄り道世界一周
1ドル360円時代
ドニエプル出版



大学を卒業しインターン、そして一般外科研修の後ザンビア共和国の診療所へ赴任。１ドル360円の超円安の中、持ち出し限度額の２万円を持って日本を飛び立つ。その後、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカを放浪して大阪万博に沸く日本に帰国。70歳を記念して寄った先々でのエピソードを綴り、上梓。イラストは久志本雅子。
Ａ５判188頁並製本、定価：本体1620円（税込み）
ドクターがつまみ食いしたユーラシアの古代史㊤
ドクターがつまみ食いしたユーラシアの古代史㊥
各Ａ５判並製本、定価：本体1620円（税込み）
（引き続き㊦発行予定）

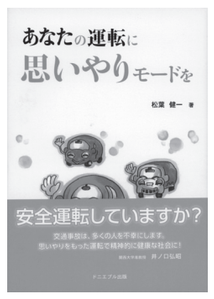


笑顔してますか
近藤友二著
発行：ドニエプル出版
（☎072―926―5134）
定価：1,080円（税込み）

「笑顔は心をなごませて、素晴らしい人生を作ります。どんどん笑顔の輪を広げていきたい」と昭和60年に笑顔運動を開始して以来、全国を歩き、ただひたすらに笑顔しようと呼び掛けて30年。笑顔の力を伝える先駆者であるNPO法人日本スマイリスト協会理事長が書き下ろした書。

「笑顔を全国に広めたパイオニア」と日本笑い学会副会長で医師の昇幹夫氏が推薦文を寄せている。

新・刊・紹・介



あなたの運転に思いやりモードを
松葉健一著
発行：ドニエプル出版
（☎072―926―5134）
定価：1,620円（税込み）

交通事故は多くの人を不幸にする。感情的になり意地を張る危険運転をしては、ストレスもたまり事故をも誘発してしまう。そのような自身の運転経験、保険代理店としての経験をもとに安全運転の指南書として書き下ろした。

「思いやりをもった運転で精神的に健康な社会に！」と関西大学准教授井ノ口弘明氏が推薦している。

企業経営者で阿闍梨の著者が説く人生論。現代人必読の書。
らしく生きる
松茂良興治著
B6判192頁並製本
定価：1575円（税込）
発行：ドニエプル出版
発売：新風書房
全国書店で発売中
問い合わせは松茂良興治事務所へ
TEL 072-922-3933

総合診療所 あいしんクリニック
〒583-0885 羽曳野市南恵我之荘2丁目1―28
TEL／FAX（072）933―0428
事務所 〒583-0885 羽曳野市南恵我之荘2丁目3―9 カーサヴェルデ101
TEL／FAX（072）951―9072

国際医術学院
学院長　光田年寿
〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目4―8 長堀プラザビル5階F室
TEL：06―6244―0373
FAX：06―6244―0399

映像制作・イベント・広告のことなら
株式会社コンセプト
代表取締役　尾花　英隆
〒547-0022 大阪市平野区瓜破東2―5―49
TEL06―6703―0009
FAX050―3156―7019

はいはいメソッド・水素療法
森井整骨院
院長　森井隆喜
（日本水素療法協会会長）
〒578-0941 東大阪市岩田町3―7―26
TEL（06）6722―5225
（近鉄奈良線・岩江岩田駅より徒歩5分）

NPO法人（特定非営利活動法人）
在宅医療サポート協会
理事　坂口　健太朗
〒580-0016 大阪府松原市上田4―1―26
TEL／FAX（072）206―8578

株式会社 アイシード
法人営業部部長　木村達也
トータルタックスプランニング
〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-5-12-9F
TEL06-6252-7737
FAX06-6252-7738

桃源の里治療院
（あんま指圧マッサージ）
代表　小橋　稔子
〒581-0867 八尾市山本町南1―10―23
☎0120―35―5678
月～土　10時～19時（18時受付終了）
定休日　日祝

あなたの体験や思いを本にしませんか
「著者と編集者が二人三脚で本作り」をモットーに親身になって本作りをします。
お気軽にお電話下さい。
株式会社ドニエプル出版
TEL072-926-5134

遊休機械買取り専門
マシン デポ
中古機械ナビゲーター
小川秀人
OGAWA HIDETO
携帯☎：080―1454―5666
携帯✉：bachi-deto5704@docomo.ne.jp
PC✉：padrone22bach@outlook.com
〒631―0834 奈良市西大寺新池町4―45

馬肉専門店
桜家
美容と健康に最高
低カロリーでカルシウム、鉄分たっぷりの馬肉。コレステロールを下げるリノール酸、リノレン酸も多い。血管を丈夫にし、動脈硬化を防ぐ。
東大阪市長堂1―3―6
近鉄布施駅北へ徒歩1分（宮本むなし隣）
TEL：06-7651-0827

日産ネジ株式会社

工場内の様子

検査待ちがボトルネックに

日産ネジ株式会社の高品質、高強度なねじの用途は自動車・重機・建機、産業機械、電子機器・基板など精密部品まで多種多様だ。「品質は工程でつくりこむ」「不良品は社外に出さない」「品質維持・向上のために設備投資は惜しまない」が同社の存在価値を高めている。そんな中、ねじの製造工程には人が中心となって行う（自動化が難しい）工程がある。それが検査工程であり「検査待ち」がボトルネックになり後工程の梱包ができず、製品が出荷できない状態になることがある。

納期遅れの発生や受注の機会を逃がしかねない。機会損失を危惧する北尾八三一社長の「何とかならないのか!?」で生まれた新製品「ねじ寸法自動計測システム」開発に挑戦した一人の技術者を取材した。

一人の部長が呼ばれた

北尾社長は「ねじの寸法測定を効率化できないかと大手メーカーの画像寸法測定器を導入したが、専門的で使いこなせなかった」と述懐する。

2012年の春、情報システム部の当時51歳の部長が社長に呼ばれた。

「同業他社も同じ画像寸法測定器を導入している。うちの会社でも同じ測定器を使用しているが有効に使っていない。なんとか自動化できないだろうか」と社長は話しかけた。

社長の問題意識は「人が判断し、人が数値を読み取っている。そして人が成績書に手書きで記入している」ことにあった。この現状に「何とかならないのか」と指摘したのでる。その頃、部長は大手IT企業での経験からいち早くクラウドコンピューティングに着目。クラウドを利用した生産管理・販売管理システム構築に専念していたが、同業他社も使っている最新鋭の画像寸法測定器を活用して検査業務の効率化を図るということで不安なく引き受けた。「ねじの測定を前提に大手測定機器メーカーから購入したものなので、十分に可能であろう」と判断した。しかし、落とし穴が待っていた。

汎用機の検証で限界を知る

「画像寸法測定器を活用した検査業務の効率化」に向けての活動を再現すると―。

測定器メーカーやソフトウェア開発会社との打ち合わせを行い、実際に画像寸法測定器を使用してねじの測定を行った。画像寸法測定器は汎用的な製品であり、どんな物でも測れるかわりに、測定対象物ごとに事細かなパラメータ（測定のための基準値）を設定しなければならない。この作業は煩わしい。パラメータ設定は幾何学的なもので図形や補助線等を組み合わせて行う。「パラメータを設定して測定する、修正して測定する」を何度も繰り返し最適なパラメータを見つける。専門的な知識と経験が必要な作業である。

ようやくパラメータが決まり測定対象のねじを置き、測定開始ボタンを押す。一発で結果が出る。測定結果は正しい。測定結果はファイルに出力され、簡単なプログラムを作成すれば成績書の印刷もできる。使えそうだ。測定精度はどうか。精度も良い。しかし、同じねじを何度も繰り返して測定していると測定エラーが出た。

ねじが投影面に対して傾いて投影画像がぼやけているのだ。ねじを回転させて測定面を変えると測定値がばらつく。統計を取ると繰返し精度が目標の0・01ミリ以内に入らないことが分かった。

そして、専用装置の開発へ

検証結果として「画像処理を応用した寸法測定の特徴として板物の測定は得意であるが、ねじのような立体物の測定は難しい。投影面の一方向しか測定できない。焦点が合う位置は外輪のみで、内側に向けてぼやける。測定対象物の形状ごとに細かなパラメータ設定を行わなければならない。日産ネジには商品マスターが4万点以上あり、事前のパラメータ設定だけでも大変である」と結論づけた。この検証内容が新製品開発への序曲でもあった。

「社長、自動化はできません。業務の効率化にはなりません」

期待に応えることができず申し訳ない思いで報告をした。

「それで、どうするんだ！」

「ねじを測定する専用装置を作るしかありません」

「できるのか？」

「非接触式の変位計で寸法を測定する機器は多くあります。その原理をねじの測定に応用すればできない筈がありません」

「やってみろ！」

（つづく）

「何とかならないのか!?」から生まれた ねじ寸法自動計測システム 開発への道のり 2

Best Socket Screw

測れなかったものが見える　品質が見える

本当の寸法が見える

国産初、業界初、ねじの360度全周、全長、全域を測定する

ねじ寸法自動計測システム
NSiSN-3000s

日産ネジ株式会社
株式会社ソケットセンター

〒580-0046 大阪府松原市三宅中 8-4-41
TEL 072(333)1531　FAX 072(333)8584
〒130-0024 東京都墨田区菊川 3-12-12
TEL 03(5638)4480　FAX 03(5638)4471
E-mail eigyo@nissan-neji.com　HP http://www.nissan-neji.com

7周年を迎える パドローネ22

楽しく自由な空間

「パドローネ22」は2009年の正月にスタートして、7周年を迎えた。会合の名称「パドローネ」はイタリア語で「社長」を意味する。「22」は21世紀を超え22世紀を見定めて、語り合おうという心意気で命名した。

会合の例会は毎月第4火曜日・午後6時半スタート。会場は昭和9年創業の老舗珈琲店丸福珈琲千日前本店（大阪市中央区千日前1）だ。

講師は様々な方々にお願いしており、演題は講師自身の信条・生き様・趣味等々多岐にわたる。

7周年を記念して11月14日に難波の老舗ジャズバーB-Roxy（大阪市中央区日本橋1）にて、記念ジャズライブを開いた。

ジャズ界の重鎮ベース奏者・宮本直介さん、芸術品レベルのギター奏者・塩本彰さん、レッドガーランドばりの軽快なピアノ奏者・志水愛さん、ブルージーなジャズヴォーカルの第一人者・松原衣里さんのカルテットが珠玉のライブで目いっぱい楽しませてくれた。

当日は会場も満席状態で、終演後もアンコールのかけ声が止まなかった。

「パドローネ22」は再来年の2017年4月に、節目の第100回例会を迎える。

今後も楽しく自由な空間の構築につとめ、継続していきたいと思っている。

「パドローネ22」への問い合わせは padrone22bach@outlook.com へ。

パドローネ22代表　小川秀人

例会 毎月第４火曜日 丸福珈琲 千日前本店

珠玉のライブで参加者は大満足

楽しく自由な空間

第四回世界に羽ばたけ『夢』スピーチコンテスト

支援金額：120万円

主催：一般財団法人青少年夢応援隊
協賛：株式会社サンクレスト
後援：大阪府、東大阪市
公式サイト：http://yumeouentai.com

【開催趣旨】
将来の夢や目標があるが、経済的支援を必要とする若者が自身の「夢」をテーマにスピーチを行い、受賞者を選定、支援金権利を授与いたします。

【応募資格】
大阪在住または在学・在勤の 16 歳以上 25 歳までの青少年（平成２年４月２日～平成 12 年４月１日生まれの方）

【出場者一次選定】
作文を基にスピーチコンテスト本選出場者 10 名を選考いたします。
①公式サイトより『出場者申込書』をダウンロードし、必要事項を記入
②「夢」というテーマで作文を書いていただきます。
また、受賞した際の支援金の使途も記載ください。
※原稿用紙（400 字詰め）にて２～３枚まで
※手書き、パソコン等問わない
③応募方法：「出場者申込書」と「原稿」を併せてメール又は郵便でお送りください。
※「出場者申込書」と「原稿」はＨＰよりダウンロードしてください。
※メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」としてください。
④送り先：郵送の場合　宛先：大阪府東大阪市南上小版 12-42
一般財団法人青少年夢応援隊　事務局　植田宛
メールの場合　info@yumeouentai.com
⑤原稿締切：平成 28 年８月 31 日（水）必着
【本選開催日時】
平成 28 年 10 月（日にち未定）
本選開催場所：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天
住所：大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10

東大阪の企業　株式会社サンクレストが応援しています

大阪フィルハーモニー交響楽団　八尾演奏会
山下洋輔、15年ぶりに大阪フィルとのラプソディ・イン・ブルー
指揮：大友直人
独奏：山下洋輔（ピアノ）
管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団
A. リード（中原達彦編）：エル・カミーノ・レアル（管弦楽版）
G. ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー
A. ドヴォルザーク：交響曲第９番「新世界より」
2016（平成 28）年１月 31 日（日）
15：00 開演（14：15 開場）※17:00 終演予定
指揮者・大友直人さんと八尾市在住の音楽評論家・横原千史さんによるプレトーク開催（14：30～）
プリズムホール（八尾市文化会館）
全席指定・税込
ＳＳ席：6,000円
Ｓ席：4,500円（友の会4,050円）Ｓ席割引：3,600円
Ａ席：一般3,000円（友の会2,700円）Ａ席割引：2,400円
Ｂ席：一般2,000円
（当日各500円増）
Ｓ席割引、Ａ席割引は、25 歳以下・65 歳以上／障がいのある方とその介添の方（１名様まで）が対象
○チケット発売
【友の会先行発売】　2015（平成 27）年 10 月 31 日（土）午前 10：00～
【一般前売発売】　2015（平成 27）年 11 月 1 日（日）午後 10：00～

PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求め お問い合わせ
プリズムホールチケットカウンター ☎ 072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット　http://prismhall.jp/

元気になれ！ ヘム鉄ゼリー

１粒にほうれん草30株分、プルーン300粒分の鉄分補給！

黒粒ヘム鉄ゼリーは、ヘム鉄と、瞳に優しいアントシアニン色素、ビフィズス菌の栄養になる（善玉菌を増殖させる）オリゴ糖、そして、スギナ・ヨモギなどをバランスよく含有したゼリーです。

430ｇ（50粒）
￥4,104（税込）

（有）ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

根川医院

診療科　内科・小児科
住所　〒577-0807 東大阪市菱屋西6-2-28
結婚式場　千日前通り（産業道路沿い）
診察時間　月～土　午前9時～午前12時　午後6時～8時
火・水・木・金・土・日・祝　午後6時～8時
休診日
TEL 06-6781-1253
FAX 06-6781-8406

河内国一之宮
枚岡神社
枚岡神社注連縄掛神事
通称 お笑い神事
（東大阪市無形民俗文化財）
今年は 12月23日
（天皇誕生日）

「八尾市の魅力を『映画』という形で発信したい」という地元八尾市に対する熱い思いから企画された住民発の新しいイベントが八尾市で開催される。

映画祭の作品は、八尾の語呂合わせ「やお（80）」に因んで作品時間は 80 秒と超短編作品のみ。

プロ・アマ問わず広く作品を募集中。

平成28年３月27日（日） 午後5時開催
アリオ八尾内MOVIX八尾

応募締切／平成28年２月25日（木）

やお 80″映画祭 2016
80秒の映画祭

イベント情報

第17回「河内作品展&四国観光物産展」

素敵な作品、美味しい四国の物産など、いろいろあります。皆さん、誘いあってぜひおいで下さい！

日時：12月18日～20日
午前10時～午後6時
（但し、20日は午後4時まで）
会場：八尾市文化会館プリズムホール3F展示室（近鉄八尾駅徒歩5分）

長春天山灰釉茶碗展
日時：12月18日～20日
会場：大阪歴史博物館4F 第3会議室（地下鉄谷町四丁目駅すぐ）
入場料：無料

痛みの生理学 2

せせらぎ整骨院院長　斉藤 昌人

簡単で迅速にできるアイシング

痛みのコントロールは重要だ。

おそらくどの医療機関でも、炎症の処置だけでなく、例えば外力に伴い形成される筋のトリガーポイントや筋膜の異常などの処置など、またはテーピング、包帯、場合によっては固定具を用いるなどの様々な方法で疼痛のコントロールをするであろう。

しかし、実際のスポーツ現場や一般の家庭生活の場では、その応急処置法は限られてくる。

そうなると簡単で迅速にできるアイシングもやはり重要な要素となってくるのではないかと思う。

しかしその場合もある程度の原理原則は参考にして欲しい。

例えば、クライオセラピーの理論では、損傷して数分以内に冷却することが大事だそうだ。

そうすることにより、組織損傷に伴う浮腫を軽減させることができ、それに伴う2次的な組織損傷や線維素の形成を最小限に防ぐことができるという。

そう考えると大事なことは、

①ケガをしたら数分以内に冷却する。

②過度に冷やしすぎない。

③長時間冷やさない（最新のエビデンスでは、長くても20分以内とある）。

というところ。

また冷やす冷やさない以前の問題として、とにかく一番大切なことは、ケガをしたときは、無理をしない、また無理をさせないことである。

本人も、また周りの保護者、指導者もとかく捻挫を「たかが捻挫」と軽視しがちの人が意外と多い。

以前、来院した高校生は、顧問の先生に「捻挫はケガではない！」と言われたそうで、それを聞いてビックリしたことがある。

たかが捻挫から短期的にも長期的にも身体にいろいろな障害が起きることは臨床上よく経験することだ。

程度によっては医療機関に受診すること、またなにより当たり前なことだが、無理はさせないことが肝要であると思う。

世の中に異議あり③

中学生の英語教科書を見て驚いた

浮世の義理でどうにも断りきれず、友人の子弟に英語を教える羽目になった。中学生だが教科書を見て驚いた。英語の発音記号の表示が見当たらない。例えば、I am a boy.に「アイ・アム・ア・ボーイ」とルビが振ってあるだけ。断っておくが幼稚園の話ではない、それなりのレベルの中学校だ。学校の授業では、英語教師の発音に倣って教科書を音読しているとのこと。唖然とするというかあきれるというか、何ともいいようがない。ただでさえ英語発音のマスターは至難の業なのに、もう笑うしかない。

しかし現実に、この噴飯ものの英語教科書を採用している学校が存在することが空恐ろしい。

英語を母国語とする民族は地球上の20%に過ぎない。他の民族は自国語なまりをベースにした「英語もどき」で会話・生活している。日本ならばJapaglish（ジャパグリッシュ）だ。例えばRとLの発音聞き分け・使い分けができる日本人は少ない。しかし悲観する必要はない。要は相手に通じればよいのだ。体裁を気にせずに体当たりで習得するのがいちばん身に付く。

第1次世界大戦後の国家間の軍縮会議は英語ではなく、フランス語を使用したそうだ。英語では表現しきれない微妙でデリケートな問題を、フランス語通訳を仲介して解決の道を探っていた時代があった。（T）

連載小説

ウクライナを歩く――46

小野元裕

クリミアへの送電塔が爆破される

ビーツのたっぷり入った真っ赤なボルシチは美味しかったものの、話題がパリ同期多発テロになり、昨夜の集まりは後味が悪いものとなった。イワン先生の家に戻り、サーロ（塩漬けした豚の脂身）をかじりながらサマゴン（自家製ウオツカ）を何杯も飲んだ。

二日酔いになると思いながら就寝したが、朝起きると、不思議にすっきりとしている。自分の頬を叩きながら台所へ入った。

「おはようございます」

妙なイントネーションの日本語で、ナタルカが迎えてくれた。ナタルカの挨拶は明るくていい。オリガ婆さんは、黒パンを牛乳に浸しながら食べている。

ナタルカが熱い紅茶を差し出した。牛乳と砂糖をたっぷり入れて飲む。サマゴンをたくさん飲んだ朝は、これに限る。頭はすっきりしているものの、胃がまだ寝ている。

居間でテレビのニュースを見ていたイワン先生が、「大変なことになりました」と言いながら台所に入ってきた。

「どうしたのですか」

「クリミアに隣接するヘルソン州の2カ所4基の送電塔が何者かによって爆破されました」

「何ですって」

横からナタルカが割って入った。

「3分の2の電力を本土からクリミアへ送っているので、クリミアは全地域で停電になっています。ロシアのクリミアへの進駐に我慢ならず、若者たちの堪忍袋の緒が切れたのです」

「とうとうやってくれたわね！」とナタルカは飛び上がって喜んだ。

オリガ婆さんがやれやれといった表情で、静かに残りのパンを口にほりこんだ。

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南6－2－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893